

「温暖化からひょうごを守る適応策基本方針」に基づく施策体系表(平成30年3月末時点)

分野	項目	主な影響内容 (施策・事業に関連のある影響を抜粋)	施策・事業	施策・事業の内容	基本的方向性			関係課室	
					知る	伝える	対処する	部名	課室名
農業、森林・林業、水産業	農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆米の品質の低下(白未熟粒の発生、1等米比率の低下、酒米の消化性低下等)</li> <li>◆いちじく、くりの凍害発生</li> <li>◆果樹の栽培適地の移動</li> <li>◆麦類の茎立・出穂の早期化・凍霜害・湿害の発生</li> <li>◆大豆の落花・落莢・青立ち・収穫指数の減少</li> <li>◆露地野菜の収穫時期の早期化、生育障害の発生頻度の増加</li> <li>◆トマト等の着果不良・裂果・着色不良</li> <li>◆イチゴ等の開花期の前進・遅延・生育不良</li> <li>◆花きの開花期の前進・遅延・生育不良</li> </ul>	食料生産性・品質の向上	稲・麦・大豆作等指導指針により、適切な栽培手法の指導及び高温耐性品種の選定及び転換(移植時期の適正化の推進、適切な施肥と水管理の推進、堆肥等有機物施用や深耕による地力の向上の推進、水稻高温障害対策技術の普及啓発、高温耐性品種「きぬむすめ」への転換・普及等)			○	農政環境部	農産園芸課
			栽培技術情報の提供	気象庁の1か月予報等に対応した毎月の栽培技術情報の県ホームページへの掲載		○	農政環境部	農産園芸課	
			穀物・野菜・果樹等の品種改良・栽培法の試験研究	農作物の品質低下に対する高温耐性品種の導入や適切な栽培手法の普及(夏季における品質安定化技術の開発、高温耐性品種の普及拡大等) 【高温対策】 酒米(山田錦)の高温障害の機構解明、山田錦最適作期決定システムの開発、山田錦高温障害警報システムの開発、肥料施用法の開発、気化冷却を利用したイチゴ(培地気化冷却)、トマト(パッドアンドファン)等の簡易冷房、傾斜ハウスや遮光資材の利用等、カーネーションの夏季夜間短時間冷房等 【凍害対策】 イチジクの凍害危険度予測、イチジク高主枝栽培による凍害抑制、株ゆるめ技術によるクリの凍害防止等 【降雨極端化対策】 冠水影響評価、地下水水位制御システム(FOEAS)導入、簡易土壌水分計による灌水管理・日射制御型拍動自動灌水装置等の合理的灌水手法の開発等	○	○	○	農政環境部	農産園芸課 総合農政課 (農林水産技術総合センター)
	農業、森林・林業、水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆乳用牛、肉用牛、豚の繁殖成績の低下</li> <li>◆乳用牛の乳量・乳成分の低下、採卵鶏の産卵率の低下</li> <li>◆肉用牛、豚及び肉用鶏の増体率の低下</li> </ul>	畜産の生産性向上対策の推進	酪農、肉用牛、養鶏、養豚及び養蜂等の飼養管理技術の向上、家畜の能力向上、暑熱対策の推進			○	農政環境部	畜産課
			農業生産基盤対策	点検や調査の結果、防災・減災対策の緊急性が高いと判断された農業水利施設(ため池・疏水・井堰・樋門)の整備や統廃合、長寿命化対策の推進			○	農政環境部	農村環境室
	森林・林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆山腹崩壊、地すべり、崩壊土砂流出等の頻発化</li> <li>◆高山帯・亜高山帯の植生の衰退</li> <li>◆冷温帯分布領域の減少・暖温帯分布領域の拡大</li> <li>◆病虫害危険度の増加</li> </ul>	新ひょうごの森づくり	人工林の間伐、里山林の整備			○	農政環境部	林務課 豊かな森づくり課
			災害に強い森づくりの推進	緊急防災林整備(斜面对策・溪流対策)、里山防災林整備、針葉樹林と広葉樹林の混交整備、野生動物共生林整備、住民参画型森林整備、都市山防災林整備			○	農政環境部	林務課 治山課 豊かな森づくり課
			森林の適正な保全と管理	治山ダム等の設置や防災機能を高めるための森林整備等の実施、木材生産や森林の適正な維持・管理に必要な林道の整備、さらには松枯れやナラ枯れ等の被害対策や保安林制度等の適正な運用			○	農政環境部	林務課 治山課 豊かな森づくり課
			森林の持つ災害防止機能の総合的・定量的評価に関する試験研究	樹木根系の動態把握による森林管理手法の確立、斜面安定に寄与する樹木根系による崩壊防止力の推定等			○	農政環境部	総合農政課 (農林水産技術総合センター)
	水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆回遊性魚介類の分布・回遊域の変化</li> <li>◆瀬戸内海や日本海などでの南方系魚種の増加や北方系魚種の減少</li> <li>◆植物プランクトンの現存量と一次生産力の変動</li> <li>◆磯根資源量の変化</li> <li>◆ノリ養殖開始時期の遅れ・年間収穫量の減少</li> <li>◆ワカメ種苗生産の不安定化、養殖開始時期の遅れ</li> <li>◆赤潮の長期化や熱帯性有毒プランクトンによる貝類の毒化</li> <li>◆ブリ、トラフグ等の養殖適地の北上</li> </ul>	漁場環境保全対策調査	漁場環境の保全及び漁場の一次生産力の変化予測などに役立てるための、播磨灘、大阪湾、紀伊水道、日本海における定期的な海洋環境のモニタリング調査(水温、塩分、栄養塩類、プランクトン分析等)	○			農政環境部	水産課 総合農政課 (農林水産技術総合センター)
温暖化に対応した種苗生産方法の改良と生産現場への技術移転			高水温化に対応した養殖品種の作出や生理特性の解明(ノリ、ワカメ等)			○	農政環境部	水産課 総合農政課 (農林水産技術総合センター)	
漁業資源の管理と有効利用			気候変動等によって資源水準や来遊量が大きく変動した漁獲対象種の生態学的特性を解明し、資源管理方策や有効利用法を提案(サワラやイカ類等)			○	農政環境部	水産課 総合農政課 (農林水産技術総合センター)	
その他の農業、森林・林業、水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆作業中の熱中症による死亡者数の増加</li> <li>◆野生鳥獣の分布拡大による農作物、造林木や水産資源等への被害</li> </ul>	農作業中の熱中症対策	農作業中の熱中症対策について注意喚起			○	農政環境部	農産園芸課	
		鳥獣害対策	シカ・イノシシ等による鳥獣被害防止のための侵入防止柵の整備・捕獲活動等への支援、野生鳥獣の生息状況等に関する情報の把握			○	農政環境部	鳥獣対策課	

「温暖化からひょうごを守る適応策基本方針」に基づく施策体系表(平成30年3月末時点)

分野	項目	主な影響内容 (施策・事業に関連のある影響を抜粋)	施策・事業	施策・事業の内容	基本的方向性			関係課室	
					知る	伝える	対処する	部名	課室名
水環境・水資源・自然生態系	水環境	◆水温、水質、栄養塩類等の流出特性の変化 ◆溶存酸素の低下 ◆沿岸域の塩水遡上域の拡大	公共用水域の常時監視	河川、湖沼、瀬戸内海等の海域の継続的な水質測定調査の実施	○			農政環境部	水大気課
	水資源 (水供給、水需要)	◆渇水の頻発化・長期化・深刻化 ◆農業分野での水資源利用方法への影響 ◆農業用水の需要への影響	ひょうご水ビジョンの展開・総合的水資源対策	水源状況の情報発信、節水型ライフスタイルの普及啓発、水の安定供給の確保に向けた調整、渇水時の調整・連絡			○	企画県民部 健康福祉部 企業庁	ビジョン課 生活衛生課 水道課
			ため池整備の推進	農業用水供給能力や治水能力が高い、安全なため池の保全・整備			○	農政環境部	農村環境室
陸域等の生態系、分布・個体群の変動等	◆分布域やライフサイクル等の変化 ◆種の移動・局地的な消滅による種間相互作用の変化	野生鳥獣保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)の推進	生息数が著しく減少(増加)などしている鳥獣の保護(管理)(「兵庫県第12次鳥獣保護管理事業計画」、「第2期ニホンジカ管理計画」、「ツキノワグマ管理計画」、「第2期ニホンザル管理計画」、「第2期イノシシ管理計画」の推進)			○	農政環境部	鳥獣対策課	
自然災害・沿岸域	水害 (洪水、内水)	◆洪水を起こしうる大雨の影響の増大 ◆施設能力を上回る外力による水害の頻発化	総合的な治水対策の推進	地域総合治水推進計画に基づく河川・下水道対策、流域対策、減災対策の推進			○	県土整備部	総合治水課 河川整備課 下水道課
			風水害等に備えた減災対策(河川関連)	河川監視カメラ、氾濫予測情報、CGハザードマップ、増水警報システム等の整備・運用、市町の水防活動支援・県民の水防意識啓発			○	県土整備部	技術企画課 河川整備課
	高潮・高波等	◆波高や高潮偏差の増大による港湾及び漁港防波堤等への被害 ◆強い台風の増加等による高潮偏差の増大・波浪の強大化 ◆高潮等の浸水被害の拡大や海面水位の上昇に伴う臨海部産業や物流機能の低下 ◆高潮等の浸水による背後地の被害や海岸侵食の増加	気象・海象モニタリングの推進	潮位観測等を継続し、気候変動による影響を的確に把握			○	県土整備部	技術企画課 港湾課
			風水害等に備えた減災対策(海岸関連)	港内カメラ、潮位等観測情報、CGハザードマップ等の整備・運用			○	県土整備部	技術企画課 港湾課
	土砂災害 (土石流、がけ崩れ等)	◆土砂災害の頻発と甚大な被害の発生 ◆警戒避難のためのリードタイムが短い土砂災害の増加	第3次山地防災・土砂災害対策計画の推進(土砂災害関連)	土砂災害特別警戒区域に指定された谷出口周辺やがけ直下に人家があるなど、緊急性の高い箇所では山ダムや砂防堰堤、急傾斜地崩壊防止施設等を重点的に整備			○	農政環境部 県土整備部	治山課 砂防課
			道路防災対策	道路への落石、崩土の防止対策等の推進			○	県土整備部	道路保全課
			農村の防災・減災対策の推進	点検や調査の結果、防災・減災対策の緊急性が高いと判断された農業水利施設(ため池・疏水・井堰・樋門)の整備や統廃合、長寿命化対策の推進			○	農政環境部	農村環境室
	強風等	◆強風や強い台風の増加 ◆竜巻発生好適条件の出現頻度の上昇	風水害等に備えた減災対策(台風・竜巻関連)	「ひょうご防災ネット」への登録者を対象とした気象状況、避難情報の提供			○	企画県民部	災害対策課
			兵庫県地域防災計画の推進	「兵庫県地域防災計画」の所要の見直し、市町の防災体制の充実強化への助言等			○	企画県民部	防災企画課
	防災体制等	～自然災害・沿岸域共通～	24時間監視・即応体制の運用	災害等の緊急事態の発生への備え			○	企画県民部	災害対策課
			ひょうご防災ネット(ひょうごEネット)の運用	メール機能等により、災害発生時に避難情報等の緊急情報を発信(外国人向けとして「ひょうごEネット」の運用)			○	企画県民部	災害対策課
			フェニックス防災システムの運営	気象情報や各市町における避難情報、避難所開設情報等を各防災関係機関と共有し、併せて、県ホームページやアラート(災害情報共有システム)を活用した住民向け情報発信(兵庫県防災(気象)情報等)			○	企画県民部	災害対策課
			防災教育・学習	人と防災未来センターにおける過去の風水害の脅威についての展示(実写映像の放映)、「CGハザードマップ」ホームページ中の防災学習サイトの運用			○	企画県民部 県土整備部	防災企画課 技術企画課
			兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)の推進	地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害を対象とした兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)の加入促進			○	企画県民部	復興支援課
			災害時の被災者支援	災害弔慰金・災害援護金の支給、災害援護資金の貸付			○	健康福祉部	社会福祉課
自然災害被災住宅の再建支援			住宅再建支援のための金融機関と協調した低利融資、借入金利子の一部助成、高齢者の住宅再建に対する助成(災害規模によりその都度検討)			○	県土整備部	住宅政策課	
港湾の事業継続計画(港湾BCP)の運営	主要港湾の事業継続計画(港湾BCP)の適宜見直し、改善等			○	県土整備部	港湾課			

「温暖化からひょうごを守る適応策基本方針」に基づく施策体系表(平成30年3月末時点)

分野	項目	主な影響内容 (施策・事業に関連のある影響を抜粋)	施策・事業	施策・事業の内容	基本的方向性			関係課室	
					知る	伝える	対処する	部名	課室名
健康	暑熱	◆熱中症発生率の増加 ◆熱中症搬送者数の増加 ◆熱ストレスによる死亡リスクの増加	県ホームページ、チラシ等での熱中症への注意喚起	熱中症予防について記載したチラシを作成し、県ホームページへの掲載及び配布により、熱中症予防を普及啓発		○		健康福祉部	健康増進課
	感染症	◆ Dengue熱等の感染症媒介蚊(ヒトスジシマカ)の生息域の北上 ◆ 感染症を媒介する節足動物の分布可能域の変化 ◆ 気温上昇や降水量の変化による感染リスクの増加や発生特性の変化	蚊媒介感染症についての注意喚起	県ホームページへの掲載による蚊媒介感染症についての注意喚起		○		健康福祉部	疾病対策課
			感染症の予防・拡大防止	感染症に関する情報の提供、洪水時における市町への消毒等の指示		○	○	健康福祉部	疾病対策課
その他の健康への影響	◆ 微小粒子状物質(PM2.5)等大気汚染物質の濃度変化 ◆ 光化学オキシダント濃度上昇に伴う健康被害の増加	大気汚染対策の推進	光化学オキシダント・微小粒子状物質(PM2.5)等大気汚染物質の現状把握のための調査・研究ならびに県民への情報発信及び注意喚起の実施、有害大気汚染物質の環境モニタリング調査の実施	○	○		農政環境部	水大気課 環境影響評価室	
産業・経済活動	産業・経済活動	◆ 企業の生産活動や生産設備の立地場所選択への影響 ◆ 生産設備等への物理的被害	県内事業所事業継続計画(BCP)策定の促進	国が定めるガイドライン(自然災害時の対応含む)の普及啓発等を通じた県内中小企業の事業継続計画(BCP)の策定を促進			○	産業労働部	産業政策課
	観光業	◆ 風水害による旅行者への影響	災害時における外国人への支援策	災害発生時における外国人に対する支援実施のための通訳ボランティアの派遣及び問合せ窓口の設置			○	産業労働部	国際交流課
国民生活・都市生活	インフラ・ライフライン等	◆ 豪雨による地下浸水・停電・地下鉄への影響 ◆ 濁水や洪水、水質の悪化等による水道インフラへの影響 ◆ 豪雨や台風による切土斜面への影響	自立・分散型エネルギー等の導入促進	中山間地域等での再生可能エネルギーを活用した自立・分散型エネルギーシステムの構築支援			○	農政環境部	温暖化対策課
			水道インフラ対策	災害による被害を受けにくく、迅速な復旧を可能とする水道施設整備の推進、水道広域連携の推進			○	健康福祉部 企業庁	生活衛生課 水道課
			緊急輸送道路等の整備	地域の防災道路強靱化プランの推進による緊急輸送道路ネットワーク等の整備・強化、災害時の迅速な道路啓開・復旧等			○	県土整備部	道路企画課 道路街路課 道路保全課
			災害廃棄物処理対策	迅速な災害廃棄物処理のための全市町及び関係一部事務組合との相互応援協定に基づく支援の実施、災害廃棄物処理担当者研修の実施、兵庫県廃棄物処理計画における災害廃棄物処理計画の策定			○	農政環境部	環境整備課
	文化・歴史等	◆ さくら、かえで、せみ等の動植物の生物季節の変化	文化財の保護	名勝・天然記念物等自然遺産の保護			○	教育委員会	文化財課
	都市生活の暑熱低減	◆ ヒートアイランド現象の進行と気候変動の重なりによる都市域での大幅な気温上昇	都市地域の緑化の推進	条例に基づく建築物及びその敷地の緑化の推進、住民団体等が実施する緑化活動を支援する県民まちなみ緑化事業の実施			○	県土整備部	都市政策課
人工排熱の低減			住宅の省エネ化・省エネ機器導入の推進、省エネ型ビルの普及促進、エコドライブの推進、ひょうご公共交通10カ年計画の推進、道路交通の円滑化等			○	農政環境部 県土整備部	水大気課 温暖化対策課 交通政策課 道路企画課 道路街路課 道路保全課	
ライフスタイルの改善			夏季の省エネ・軽装・打ち水の推進等			○	農政環境部	環境政策課 温暖化対策課	
ヒートアイランド現象の観測・調査			ヒートアイランド現象把握のための県内学校に設置された百葉箱を活用した気温モニタリング調査	○		農政環境部	温暖化対策課		

横断的施策	県民・事業者・団体等、各主体との連携・情報共有	ホームページやパンフレットの活用による情報発信	農政環境部	温暖化対策課
		県民向けアンケートやフォーラム等の実施による情報共有・意識調査・ニーズ把握	農政環境部	温暖化対策課
		県民協働による温暖化事象調査や適応策の検討	農政環境部	温暖化対策課
	環境学習・教育	地球温暖化防止活動推進員による温暖化対策に関する普及啓発	農政環境部	温暖化対策課
		地域の活動団体等への情報提供・活動支援等を通じた環境学習・教育の推進	農政環境部	環境政策課
	調査・研究	国・大学・研究機関等による温暖化の影響予測等を活用し、兵庫県環境研究センター・県研究機関との連携による温暖化影響把握のための調査・研究の実施	農政環境部	温暖化対策課